## 別紙3 被害防止計画目標評価報告書

## 被害防止計画の達成状況(令和4年度)

事業実施主体名	構成市町村名	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・ 稼働率	事業効果					被害防止計画の目標と実績								1		
1											作成	基準	目標		被害金額(万円)				被害面積(ha)				事業実施主体の評価	第三者の意見	
(協議会名) 大病害,無壓壓 有害,以 大病害,協議会	大衡村	大衡村四	R1	カラス カルガモ イノシシ ツキノワ グマ	有害捕獲	カラス55羽 カルガモ3羽 イノシシ86頭					<u>平度</u> H30	年度 H29	平度 R3	対象鳥獣	48.7	<u>目標値</u> 43.8	<u>実績値</u> 58		基準値 2.02			達成率		受置 持有すた。 た 夏及 とし、被 の効果が捕獲頭数や 被害面積、被害金額に表 れているので、引き続き被 言対策に努めて欲しい。 (管内自然保護員)	
		大衡村四	R2	イ/シシ ツキ/ワ グマ カラス カルガモ	有害捕獲	カラス43羽 カルガモ3羽 イノシシ82頭								ツキノワグマ	-	1	0		-	-	0				
		大衡村内	R3	イノシシ ツキノワ グマ カラス カルガモ イノシシ	有害捕獲	カラス47羽 イノシシ77頭 ツキノワグマ1頭				ワイヤーメッシュ柵の設置でイノシンの行動範囲を狭めること ができたことなどにより、例年同等の捕獲頭数を確保できた。				カラス	-	1	0		-	-	0	ることができている。。 目標値には達しなかか、実施隊によるくくい び箱度による継続補、 気備設置の機能による。 が、実施隊による継続補、 宝金額及び被害面積。 少に効果がでている。 被害金額末達成の引 しては、以前は単価が 飼料用米の被害が主	ることができている。また、 目標値には達しなかった が、実施隊によるくくり買及		
		ДВТТР	110		ワイヤーメッ シュ柵整備	イノシシ 18,000m	大衡村農 作物有害 鳥獣版議 対策協議	R4.3	100%	かできたことなどにより、例半同寺の捕獲則数を帷珠できた。 また、被害面積及び被害面積の減少につながった。				カルガモ	-	1	0		-	-	0		書金額及び被害面積の減少に効果がでている。 被害金額未達成の要因としては、以前は単価が低い 飼料用米の被害が主で あったが、主食用米の被害		
		大衡村内	R4	イノシシ ツキノワ グマ カラス カルガモ	有害捕獲	イノシシ73頭 カラス31羽 カルガモ3羽																		るのにか、主食用木の依告が増加したことで被害金額が増えたことが挙げられる。引き続き捕獲と防除を効果的に組み合わせた対策の推進に取り組む。	
		八田刊户	7 14	イノシシ	ワイヤーメッシュ柵整備	6,000m	大衡村農 作物有害 鳥策協議 対会	R5.3	100%																
														合計	48.7	43.8	58	-189.8	2.02	1.82	0.57	725			

- 注 1:被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記載し、これに合わせて他の欄も記載する。 2:事業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。
  - 3:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。
  - 4:鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る 指導内容、維持管理方法、維持管理状況を様式に具体的に記載し、添付すること。